目次

調査の目的・方法 …… 01

女性とスポーツに関する国内外の動向 …… 02

背景:日本女子バスケットボール界の現状 …… 03

女性アスリートが直面しやすい課題の把握
(女性アスリート戦略的強化支援方策レポート) …… 04

Wリーグ選手の特徴　－個人的属性や競技経験－ …… 06

Wリーグ選手の特徴　－女性コーチ・ロールモデルについて－ …… 07

Wリーグ選手の特徴　－コーチングキャリアについて－ …… 08

社会・認知的進路理論（SCCT）を用いた結果：理論の概念図 …… 10

SCCT の質問項目 …… 11

Wリーグ選手のコーチングキャリア
選択の促進要因、阻害要因 …… 12

なでしこリーグ選手との比較 …… 14

各国と日本における取組 …… 15

コーチになるためには？ …… 16

審判になるためには？ …… 17

調査結果に基づく女性コーチ増加に向けた提案 …… 18

付録：Wリーグ試合観戦者の特徴 …… 19

調査の目的・方法

本調査はWリーグ選手の声から、女性トップアスリートが将来、コーチングキャリアを選択する上で影響を与える要因を分析しました。これは日本のスポーツ界において、女性アスリートが引退後も能力を発揮し、コーチやリーダー、審判として活躍できる環境を構築することを目指し、実施したものです。

目的

1. Wリーグ選手が、将来コーチを目指す上で直面する阻害要因、もしくは促進要因を明らかにすること
2. 女性コーチの増加や、女性がコーチとして活躍できる環境づくりのための基礎的な資料を提供する
3. 女性コーチ増加に向けた提案をする

方法

1. 調査対象者：Wリーグ加盟12チームに所属する女性アスリート165名（企業チーム 9チーム、クラブチーム 3チーム）
2. 調 査 期 間：2017年4月1日－6月15日
3. 調 査 方 法：アンケート調査
4. そ　の　他：文献、Web サイトなどによる情報収集

調査・研究：小笠原悦子　順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 教授
三倉　茜　順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科　博士後期課程1年
伊藤　真紀　法政大学スポーツ健康科学部スポーツ健康学科　准教授
新井　彬子　東京理科大学経営学部経営学科　助教
藤井　翼　順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科　H29年度修了生

バスケットボール女子日本リーグ（Wリーグ）選手のコーチングキャリア選択に関する調査レポート

発行日：2018年9月10日
発行：女性スポーツ研究センター
〒113-8421
東京都文京区本郷2-1-1　順天堂大学
デザイン印刷：株式会社廣済堂
イラスト：こさかいずみ

本書を無断で複製・転載することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。

本レポートは文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業の一環で作成しました。